



# 守ろうよ 自然の恵み 大切に

●発行日 平成22年(2010年)11月1日 ●発行所 朝倉市・朝倉市環境アクション協議会 かべ新聞編集委員会 〒838-0062 福岡県朝倉市堤4-6 電話 0946-23-1153 (朝倉市 環境課)

## 環境への思いを川柳に込め 環境川柳~18選~

皆さんに環境について考えていただくとうと、朝倉市環境アクション協議会が募集した環境川柳は、小学校や中学校、一般の方から約800点の作品の応募がありました。その中から選ばれた優秀作品18点は、環境アクション協議会メンバーが廣材を利用して看板を製作し、朝倉市内の32カ所に設置しています。



▲看板、市内32カ所に立てる

### 18点の作品は次のとおりです

- ・買い物に 持っていくよう エコバック 甘木小学校 尾畑 柚希
- ・守りたい ホタルの住める 環境を 甘木小学校 笠 桜香
- ・ゴミ減らし みんなで町を ピカピカに 甘木小学校 鐘江 安史
- ・捨てないで まだまだ使える その資源 立石小学校 吉元 楓
- ・「捨てようか」 その心より 「拾おうよ」 馬田小学校 北川 舞
- ・守ろうよ 自然の恵み 大切に 朝倉東小学校 関屋 樹香
- ・ポイ捨ては 自然の心を 傷つける 杷木小学校 坂本 龍彦
- ・ゴミ一つ ルールを守って 持ち帰り 杷木小学校 小関 ベトリツカ
- ・捨てるゴミ 再度見直し リサイクル 秋月中学校 和田 明日香
- ・あなたから 環境の輪を 広げよう 甘木中学校 永露 夕貴
- ・美しく 清き朝倉 育てよう 甘木中学校 中田 彩美
- ・見直して あなたの捨てる ゴミの量 甘木中学校 清水 桃花
- ・省エネで みんなで防ごう 温暖化 南陵中学校 井口 舞子
- ・君のゴミ ぼくらの未来を こわして 南陵中学校 笠原 美咲
- ・エコやめて エコな暮らしで ゴミ減らす 十文字中学校 平川 絢音
- ・ポイ捨てを 見ているあなた 共犯者 比良松中学校 重松 純弥
- ・環境は 地域の力が 宝物 一般 後藤 道江
- ・本当の 運転上手は エコ運転 一般 篠原 由香



▲暑い中での下草刈り

## 水源の森づくりボランティア

### あまぎ緑の応援団

朝倉市は、総面積の60%が森林です。森林は木材生産だけでなく、水源の涵養(雨水を土にしみこませて保つこと)、二酸化炭素を吸収し酸素をつくりだすといった働きがあります。水やきれいな空気を作る森林を守ろうと平成12年2月に林業関係団体が結成されたのが、水源の森づくりボランティア「あまぎ緑の応援団」です。

福岡市水道局・福岡地区水道企業団(独)水資源機構筑後川局等と連携し、福岡都市圏や地元の方々に水を育む森林の大切さを知ってもらおうと水源地交流会を開催するとともに、間伐、枝打ち、下草刈り等の森林保全活動を行っています。3月には、朝倉市と福岡市が共催した「上秋月湖水源森づくり事業」に参加し、江上ダム上流の水源林で枝打ち作業を実施いたしました。福岡市から参加された嶋田さんは「私達の家に水が運ばれてくるまでに、たくさんの人たちの努力があることを知り、改めて水の大切さを感じました。」と話していました。



▲注意をはらったの間伐、枝打ち作業



▲たくさんの方が参加しました

吉川団長は「団活動も10年が過ぎた。これからも水源の森を守り育てていくことで、水と緑ゆたかな朝倉を守ってきたい。」と話しています。

——— あまぎ緑の応援団委員会 ———  
会長 森田 俊介  
事務局：朝倉市農林課林務係・朝倉森林組合  
団員数：団長 吉川 信義 外57名

## 環境保全活動紹介 はなみずき通りを育てる会 「訪問者へのおもてなし」



▲会員による花壇の花植え

平成18年2月に発足、田籠庄市即会長ほか会員約30名で、甘木町児童公園沿いの花壇の花植え(6月、11月)や管理、イルミネーション(11月~1月)を行っています。地域住民・来町者が「和み」「癒える」空間作りと、コミュニケーションを深め、明るく親しみのある町づくりを目指して活動しています。

## みんなで守るきれいな川

### きれいに咲いた堀川のコスモス

8月8日に堀川一斉くリーン活動の一環として、堀川堤防をきれいにするこで不法投棄がなくなることを願い、大地区住民の子どもから大人まで多数の方が、堀川北線約2.5kmにコスモスの種をまきました。

9月下旬には花が咲き始め、大福小学校の児童たちは「登下校のとき、コスモスの花が咲くのを楽しみにしていました。やっとなついてもきれいで、」と話していました。



## 太陽エネルギーはすごいね!



▲発電量を興味深く見守る児童

朝倉市環境基本計画による基本計画推進のモデル事業として、馬田小学校に、校舎建替えに合わせた、平成22年4月に56枚の太陽光モジュールが設置されました。最大発電量は1時間におよそ10kw 蛍光灯約200本分だそうなんです。年間CO<sub>2</sub>排出削減量は杉の木285本分ほどの吸収量(約4,000kg・CO<sub>2</sub>)に相当します。

廊下には発電量が表示されるモニターもあり、児童たちは「環境問題の映像や発電量が見られておもしろいかな。できてよかった。」(岩田 大輝くん 6年生)「節電になっていくのがわかる。」(井上 隆登くん 6年生)と話していました。

大石教頭は「太陽光発電システムを設置したことで、児童たちのみでなくPTAの方々にも関心をもつていただき、環境への意識が高まっています。今後、この学校がモデルとなっていくと思うので、教育課程にも太陽光エネルギーを活用した環境学習によりいっそう力を入れていかなければと考えています。」と話しています。

## 「おいしいお米ができるといいな」



▲苗を植える児童たち



▲稲の生長を測定中

6月25日に、志波小学校の3年生と5年生が農協や保護者の協力のもと田植えを行いました。どんなことになりながらも上手に植えることができました。今、水の管理や草取りなどをして大きく生長しています。5年生児童は「田植えや草取りは大変だったけど、おいしいお米になってほしい。」と話しています。11月の「収穫祭」では、餅つきをして志波校区の一人暮らしのお年寄りに配る予定です。

毎月第2週は  
**きらきら美花美花\***  
週間  
きららちゃん



▲屋上に設置されたソーラーパネル